



特定非営利活動法人

おもしろ科学たんけん工房

2006年1月1日発行

第14号

たんけん通信

子どもたちが自転車で行けるところにあまねく科学体験の場を！

横浜市との協働モデル事業 18年度も継続へ

平成18年度は全部で14事業が選ばれました。

(内継続事業は9、新規じぎょうは5)

応募は54件でした。(17年度111件)

17年度から始まった、「横浜市の協働事業提案制度モデル事業」募集の結果54件の応募があり、公開プレゼンテーションを経て14事業が選ばれ、審査委員会から、中田市長に提言されることとなりました。

おもしろ科学たんけん工房の

「科学体験活動推進スタッフ発掘・養成事業」は、平成17年度に引き続き、18年度も審査委員会の審査をパスした旨、11月29日付けで審査委員会委員長名で事務局から通知を頂きました。



アートフォーラムあざみ野の オープニングイベントに協力出展

今秋あざみ野(田園都市線、市営地下鉄線交差点)にオープンした「アートフォーラムあざみ野」のオープニングイベントにおもしろ科学たんけん工房が出展しました。11月29日(土)、30日(日)。出展ブースのテーマは

「科学マジックを見て ゲジゲジUFOで遊ぼう」

さらに11月5日には熊谷主任の「テクテクザウルス」をテーマに、横浜市北部としては初めての、「おもしろ科学体験塾」を開催し、来年度北部展開の足がかりができました。同フォーラムには、「男女共同参画センター横浜北」が、オープンしており戸塚のフォーラムと同様に、平成18年度の共催を申し入れています。

横浜市に提案した協働事業の概要について

おもしろ科学たんけん工房 代表 安田光一

子どもたちが自転車で行けるところにあまねく、かつ継続的に「科学体験塾」の展開を目指す「おもしろ科学たんけん工房」は、横浜市協働事業提案平成18年度事業として下記の内容の提案をし、選考理由の通知を頂きました。

・事業概要：

- 1) 科学体験活動推進スタッフの発掘・養成
 - ①現場実習：子どもを対象とする科学体験塾の場での現場実習から実践へ。
 - ②集合研修：2日コース～3日コース年4回
〔実習中心の入門コース〕
- 2) 発掘・養成した科学体験活動推進スタッフ同士の顔の見えるネットワーク作り

・解決すべき課題：

「理科離れの現実に、市民活動によって対処すること」そのために人材の発掘・養成とその継続的活動を実現する場所施設の確保と推進スタッフの顔の見えるネットワーク作り。具体的には理科室など公立の学校の施設開放などを促進して科学塾開催場所の確保。

・課題解決の方策：

点から線へ線から面へ市民活動を行政との協働で展開する。その起動のためのセルモーターの役割がこの協働事業。3年間モデル事業を展開することで行政、学校、地域市民のあり方を変える突破口とする。

(以下 役割分担、事業経費、協働の効果、など省略)

【審査委員会における選考理由】(11月29日付通知から)

着実に活動していること、また団塊の世代の地域参加の方法としても評価できると考えます。スタッフ養成修了者が、地域で活躍する場づくりについては、科学体験活動を進める地域の団体との連携により行っていくことが有効であり、それにより連携を通じた地域の学校との関係づくりや活動場所の確保につながっていくと考えます。活動場所としては、学校の理科室だけに限定せず、他の公共施設、町内会館など地域の施設、広場などあらゆる可能性を追求していくこと、また対象者について、親子や教師の参加など、地域での信頼関係を築くための理解者をふやしていく工夫が必要と考えます。



飯塚 知子さん

A1: 1967年富山県生まれ。東京農工大農学部卒業後、化粧品会社の研究所に就職。結婚後、音楽講師に転職するも、やはり子育てとの両立が難しく、専業主婦に。その後、義母と同居、そして、子どもの小学校入学を機に再就職。現在、農林水産省「消費者の部屋」勤務。

A2: 2年前、おもしろ科学たんけん工房のインストラクター養成講座の参加者募集記事を見て、日程が合わず講座は受けられなかったものの、是非やってみたい活動だと感じた。

子供の頃から、自然の中で遊ぶことや理科の実験がとても好きだったので、今の子ども達にもその楽しさを伝えたいと思った。

A3: 科学は、生活の中にたくさん転がっていて、とても身近なもの。知らないと危険なこともある、知れば不必要な不安が解消されることもある。そんなことが伝えられるようなテーマ。また、自然学校でのバイト経験やハーブインストラクターの知識を生かしたテーマ。

A4: 現在、趣味に費やす時間はあまり取れないが、ハーブとジャズは細々と勉強中。ハーブは栽培・利用しながら、ハーブスクールで学んでいる。また、ジャズは先生につきながら、時々セッションに参加。いつかライブができればいいな〜♪

A5: いろんな本をたくさん読むこと。世界が広がり、想像力がつきます。他にも色々いいことがありますよ。

しかし、百聞は一見に如かず。生の体験は何よりの宝物です。いろんなことをやってみて、好きなこと、夢中になれることをたくさん見つけてください。

A6: よい科学者になるためには、「なぜ?」という想像力と「決めつけない」柔軟性が大切。しかしこれは、いろんな場面でも大切な事です。また試験では正解が決まっていますが、世の中は正解が一つではないものや分かっていないことがたくさんあります。わくわくしながら探求を続けていきましょう。

山本 君代さん



A1: 1946年奈良県生まれ。

人一倍好奇心旺盛な性格が、科学・海外好きとなり、高校教師を経て、青年海外協力隊に参加。Tanzaniaで物理を教える。結婚後、放送大学勤務のかたわら、JICA派遣でインドネシア、マラウイの大学で科学教育の指導にあたる。

A2: 04年、マラウイから帰国後、たんけん工房の記事を見、研修生に応募。現在、学校の理科教育が問題になる中、「どうなっているのだろうか?」と参加する。

A4: ポップス、ムードミュージックの鑑賞。植物、昆虫の観察など。

A3: ・子供たちの現状をよく見てみたい。また、子供たちの驚きや、喜び、成功したときの自信、更なる好奇心、などなど子供と一緒に楽しみたい。

A5: タンポポの種を播く、めだかを飼育する、など、何か生きものを自分の力で育ててみよう。せめて1年間。そしてその観察記録を作ってみよう。そのことにかけては誰よりも知っている君になる。

- Q1 生まれた年と、簡単な略歴を教えてください。
 Q2 たんけん工房に参加するようになったいきさつと、動機を簡単に説明してください。
 Q3 たんけん工房でやりたいことはどんなことですか 具体的なテーマでも、夢のイメージでも。
 Q4 趣味や道楽は?
 Q5 子どもたちに ぜひすすめてほしいことはなんですか?
 Q6 その他付け加えたいことがあれば、ご自由にひとこと。



伊藤伊規子さん

A1: 1964年富山県で生まれました。宇宙に行きたいというだけで苦手な理系に進み、理学部物理学科を卒業、某会社でシステムエンジニアとして8年勤めました。その後はずっと専業主婦で、もう10年くらいたちます。

A2: 長男がお世話になり、あのわくわくする想いを思い出しました。子どもはいろんな可能性を持っているもの。ちょっと考える。ちょっとやってみる。 そんな「ちょっと」のきっかけができる様にお手伝いできると良いなあと思い、参加させていただきました。

A3: ロケットや飛行機等の飛ぶものに興味があります。とはいえ、長い間科学から離れていたのいろいろなやってみたいです。オリジナルテーマを持つには、まだまだ勉強が必要です。

A4: 今は趣味と言えるものがあまりなく、子どもと一緒に…という感じですが、冬はスキーに行き、帰りは温泉に入ります。次男のクラスでの読み聞かせも3年目となりクラスの子と会話したりお母さん達とおしゃべりするのが楽しみです。家では、子どもがピアノを弾くのをボーっと見ているのが好きです。

A5: いろいろなこと、人に興味を持って下さい。頑張ったことで無駄になるものはないはず。

A6: 子ども達は、自分で考えて答えを出しているのではあと潤滑油のような役割が果たせると良いなあと思います。よろしくお願いします。

折戸 淳子さん



A1: 1980年2月15日生まれ。

大学は工学部応用化学科を卒業しましたが、いまはなぜか保育士をやっています。

A2: 自分自身化学(科学?)がとても好きだから! しかも、子どもたちと楽しめるというところにすごく惹かれました。

A3: どんなことにも挑戦したいです! なんか簡単な化学反応とかできたらと思います。

A4: これといってありませんが、最近スポーツクラブに通い始めました。あとは、旅行に行った先の「キティちゃんのねつけ」をせっせとあつめています。

A5: とにかく何でもやってみること! 何事も全力で!

A6: まだまだ未熟者ですが、よろしくお願いいたします。



幡谷 善照さん

- A1: 生まれた年/場所: 1940年/茨城県。
 大学理工学部電気工学科卒業後電機会社就職。
 主に人工衛星の製造、運用の設計、試験およびプロジェクト管理に従事。
- A2: 藤沢市民活動センターで工房を知り、インストラクター体験講習会に参加がきっかけ。動機は、理科好き子供育成に賛同。経験がいかせたらと思いました。
- A3: 人工衛星の話しができたらと思う。
- A4: 囲碁、読書、剪定。
- A5: 何でも、疑問を持つことと、色々な本を読むこと。
- A6: たくさんの子供に対し、物作り分野で仕事してみようと思う動機付けになるような、いろいろな試みができたらよい。
 例えば、現活動の他に、小学校訪問。デモ、移動展示会など実施。

第2面～4面には、スタッフのプロフィールを紹介しております。(今号は一気に13名を掲載しました。)

- Q1 生まれた年と、簡単な略歴を教えてください。
 Q2 たんけん工房に参加するようになったいきさつと、動機を簡単に説明してください。
 Q3 たんけん工房でやりたいことはどんなことですか具体的なテーマでも、夢のイメージでも。
 Q4 趣味や道楽は?
 Q5 子どもたちにぜひすすめてみたいことはなんですか?
 Q6 その他付け加えたいことがあれば、ご自由にひとこと。

植木 俊二さん



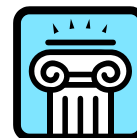
- A1: 1942年東京の荻窪で生まれ育ちました。
 横浜へ移って40年になります。車メーカーの研究開発、品質管理、教育などに携わってきました。専攻は数学で分析とか解析は得意な方でしたが、ものづくりは不得意で不器用です。
- A2: 感動、共感、学ぶ がセカンドライフのモットー。地域の「科学探検隊」に魅せられ活動し始めた頃、工房の「インストラクター研修」が目にとまり、きちんと学んで地域活動に役立てたいと思い受講したのがきっかけです。工房の皆様方また子供たちから沢山のことを学んでいます。
- A3: 子供たちと感動を共有し合える活動としたい。できた! うごいた! すごい! という単純明快で素朴な感動や、ときには、そうか! なるほど! わかった! (Eureka!) といったちょっと知的な感動などを通して、感じる力、考える力を身につけさせたいものです。
- A4: テニス、フルート: 最近バンドを作って一層熱を入れます。コーラス: 3つの団体に所属し歌いまくっています。今年7月にライブツィヒ、ゲバントハウスの舞台上でドイツ人と第九を歌ったのが自慢です。
- A5: いろいろな現象に関心を持ち、小さなことにも感動できるようにしてほしい。親でも学校の先生でもない“普通の大人”と係わり合い、共感し合えるよい機会です。世間の大人、地域社会の大人たちへの不信感を「信頼」へ向けるきっかけになるといいですね。
- A6: 子供たちの感じ方、感動の仕方はさまざまであり、子供の感じ方へのスタッフの影響は極めて大きいということを最近実感しています。子供たちの“感動の質”をより高めるためにも、自分自身の感受性を高めるよう研鑽に努めたいと思っています。

江原 護さん

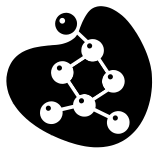


- A1: 1938年大阪豊中市に生まれる。
 同志社大学法学部卒業。三井リース事業(株)、三井オートリース(株)に勤務(営業部門)
- A2: 科学と工作に夢中になっていた少年時代を思い浮かべ、自分も楽しみながら子ども達と一緒に科学体験が出来ればと思い参加。
- A3: 少人数参加型の小規模塾の開催。
 参加児童が興味を持ち、喜びオリジナルテーマの発掘と開発が夢。
- A4: ・木工(木のおもちゃづくり)
 ・カメラ(現在の注力被写体:マンホールカバーと仏塔)
 ・ケント紙の折り紙
- A5: ・失敗を恐れずまずやってみること
 ・わからないことは自分で調べる習慣をつけること
- A6: 小生は、小学年のとき担任教諭と昆虫採集に出かけたり、鉱石ラジオを作ったり、カメラに触ったりしている間に科学に興味をもつようになりました。たんけん工房の「科学塾」で科学に興味のうすい参加児童には、なにかきっかけを与えられれば良いと思っています。

星野 利雄さん



- A1: 1936年 愛知県生まれです。
 学校卒業後 電機メーカーとその関連会社で仕事をし、定年退職後、学会誌に掲載されていた募集記事を見て、応募採用され、博物館で嘱託として、子供達に、工作を教えた。
- A2: 博物館での経験を続けたいと思っていたところ、「広報よこはま」2005年2月号に、科学たんけん工房が協働事業に決定したと発表があり、協働推進課に連絡した結果、工房の所在、電話が分かって、入会した。
- A3: 子供達が皆、基礎的な工作をきちんと出来る様になってほしい。はさみ、ニッパー、ラジペン、ドライバー、カッターナイフ等。
- A4~6: 特にありません。



神田 章子 さん

A1: 1938年 東京、青山生れ
主婦業が長かったので薬のことが分からない薬剤師。消費者センターに勤めていた関係で、食品の表示、環境問題などに興味あり。

A2: たまたま地区センターでたんけん工房のチラシを見て面白そうなので参加。

A3: 子供たちと一緒に遊ぶこと。
ハンカチの草木染 ウィンナ作り 但し設備面で難しいかも。

A4: 卓球、旅行、生ごみから堆肥作り。

A5: 目をかがやかせて、体を動かして友達と遊ぶこと。

安藤 吉治 さん



A1: 1939年横浜市生まれ、藤沢市在住。
大学は機械工学を専攻、空調オートメーション会社に入社。品質管理、生産技術、製造関係を担当。製造担当のとき障害者雇用法により初めて雇用された障害者と物づくりの経験をした。これが縁で福祉を学び、リタイア後、藤沢市介護相談員として活動中です。

A2: おもしろ科学たんけん工房の広報を見て、興味をもち、物づくりの経験から、少しでも子供達に科学の何かを伝えることのお手伝いが出来ればと思ったので・・・。

A3: 子供達と高齢者が集まりやすい、これからの地域コミュニティづくりの中で“おもしろ科学”の体験をコミュニケーションの教材としたいと思っています？。

A4: 登山(最近はハイキングが多くなりました)。富士山には多くの楽しさ、悲しさを経験しました。

A5: 何事にもチャレンジして、“なぜだろう”を見つけてほしい。

A6: 私も常に学習中です、教えることの難しさを痛感していますが、少しでも長く“おもしろ科学”を続けていきたいと思えます。



重田定明 さん

A1: 1939年 東京生まれ、大学の専門は物理ですが化学系のメーカーに41年間勤務、主に製品開発を担当。

A2: 退職後何か地域社会に少しでも役に立ちたいと思っていて時に工房の研修会のピラを見て、研修を受けて入会。

A3: 自宅に近い会場で新たに体験塾が開けたらと思っています。具体的なテーマについてはなかなかよいアイデアが出てきません。

A4: 読書、音楽鑑賞。

A5: ゲームよりは読書、工作。

A6: もともと不器用なので、アシスタントもままなりません。がんばってみたいと思っていますので、会員の皆様の御指導、よろしくお願い申し上げます。

- Q1 生まれた年と、簡単な略歴を教えてください。
Q2 たんけん工房に参加するようになったいきさつと、動機を簡単に説明してください。
Q3 たんけん工房でやってみたいことはどんなことですか 具体的なテーマでも、夢のイメージでも。
Q4 趣味や道楽は？
Q5 子どもたちに ぜひすすめてほしいことはなんですか？
Q6 その他付け加えたいことがあれば、ご自由にひとこと。

渡辺 智子 さん



A1: 1956年 生まれ。転勤族の子供に生まれたので、名古屋、大阪(豊中、堺)、そして横浜で育ちました。理科と工作が大好きな女の子がそのまま大きくなって、今は青葉区のはまっ子ふれあいスクールで、子どもたちと一緒に工作や科学遊びしています。

A2: 科学遊びの新しいアイデアと仲間が欲しかったので、昨年2月のインストラクター講座を経て、参加しました。

A3: 子どもたちが身近な場所で科学体験できるように、横浜北部地域にも、ぜひ!たんけん工房の活動を広げたいと考えています。

A4: バルーンアート(デコレーション、パフォーマンス!楽しい事はなんでもやります)、読み聞かせ活動(文庫、学校図書ボランティア)、AES 青葉イベントスタッフ(音響照明のボランティア)、エアロビクス

A5: 「ワクワク、ドキドキしてみよう!」
いろんな体験して、いろんな人と出会って、子ども時代を楽しんでください。なぜだろう?不思議だな?と思う気持ちは考える力をつける原動力です。



西田 義隆 さん

A1: 1942年 越前がにのうまい福井県に生まれました。繊維産業の盛んなところで、朝から晩まで織機の音が聞こえていました。専門は電気で計測器メーカーの営業や製造などいろいろな部門を担当しているうちに定年となりました。

A2: 定年後の仕事もだんだん単発的になり、趣味以外の時間でやれることを探していたところ、チラシを見て面白そうなので、インストラクター養成講座に参加しました。

A3: 簡単な材料でありながらアイデアを加えることで動いたり、飛んだり、思いもよらないものになったりするテーマで子供たちと一緒に楽しみたいです。

A4: 趣味は囲碁と水彩画です。囲碁は毎週横浜に出かけて碁敵と成績を競っています。

A5: 親の勧めで科学塾に参加する子供たちが多いようですが、最初はそうであっても参加をきっかけに工作する楽しさを知り、いろいろなものに好奇心を持つようになってほしいです。

A6: 主任を担当する方々の子供たちに接するときの話し方が皆さん大変うまいので参考になります。工作を楽しみながらいろいろな学べるので、長く続けられたらと思っています。

おもしろ科学体験塾など

2005年度最終3ヶ月の予定

変更する場合がありますので、参加申し込みは募集のチラシや、ホームページの案内を見て行なってください。

開催日	曜日		場 所 (会 場)	テーマ (タイトル)
01月14日	土	午後	本鵜沼(鵜沼中学校)	光と色のふしぎな世界—マルチポスコープをつくろう
01月14日	土	午後	上永谷(永野小学校)	相撲ロボットをつくって遊ぼう
01月21日	土	午後	本郷台(柏陽高校)	ICラジオの製作
01月21日	土	午後	湘南台(湘南台高校)	こするとできる電気のふしぎ—静電気で遊ぼう
01月28日	土	午前	横浜こども科学館	こするとできる電気のふしぎ—静電気で遊ぼう
01月28日	土	午後	横浜こども科学館	相撲ロボットをつくって遊ぼう
01月28日	土	午後	戸塚 (フォーラム)	レモン電池と備長炭電池
02月04日	土	午後	上永谷(永野小学校)	光と色のふしぎな世界—マルチポスコープをつくろう
02月11日	土	午後	本鵜沼(鵜沼中学校)	こするとできる電気のふしぎ—静電気で遊ぼう
02月18日	土	午後	本郷台(柏陽高校)	紙コップでヘッドフォンを作ろう
02月18日	土	午後	湘南台(湘南台高校)	水をきれいにするふしぎ大実験。
02月25日	土	午前	横浜こども科学館	空気の重さ、圧力のふしぎ
02月25日	土	午後	横浜こども科学館	ブザーを作ってモールス信号であそぼう
02月25日	土	午後	戸塚 (フォーラム)	音の出る科学遊び —空き缶楽器やぶーぶー笛
03月04日	土	午後	本鵜沼(鵜沼中学校)	ブザーを作ってモールス信号であそぼう
03月11日	土	午後	上永谷(永野小学校)	竹とんぼを作ってナイフの正しい使い方を覚えよう
03月11日	土	午後	本郷台(柏陽高校)	ふしぎな紙のマジックワーク
03月18日	土	午後	湘南台(湘南台高校)	空気の重さ、圧力のふしぎ
03月18日	土	午前	横浜こども科学館	ふしぎな紙のマジックワーク
03月18日	土	午後	横浜こども科学館	赤青黄色に光る信号機を作って回路の勉強
03月25日	土	午後	あざみ野(アートフォーラムあざみ野)	ゲジゲジ UFO (ユーフォー) をつくろう
03月25日	土	午後	戸塚 (フォーラム)	竹とんぼを作ってナイフの正しい使い方を覚えよう

インストラクタ養成集合研修

02月07日	火	午前 午後	横浜こども科学館	オリエンテーション; ;実習1 空気の重さ、圧力のふしぎ 実習2 赤青黄色に光る信号機を作って回路の勉強
02月12日	日	午前 午後	横浜こども科学館	実習3 ふしぎな紙のマジックワーク 実習4 竹とんぼを作ってナイフの正しい使い方
02月21日	火	午前 午後	横浜こども科学館	実習5 ICラジオの製作 現場実習の準備と打合せ

上記のほかに、2月4日(土)午後 磯子区の「学び合いと仲間づくりフェスタ 2006」にブース出展があります。

おもしろ科学たんけん工房のホームページ
<http://park2.wakwak.com/~tanken/>
 ホームページから[おもしろ科学体験塾]に申込みできます

市民の皆さん、地域の方々のご支援を
 お願い申し上げます。
 会場近くにお住まいの方、受付業務や広報関係
 なども、お手伝い頂けませんか？